

## 「せん妄」とは???

緩和ケア認定看護師：西村 亜希

せん妄は、中枢神経系の障害が、脳梗塞、認知症などの脆弱性があるところに、**痛み、呼吸困難、感染などの身体的・環境的な負荷が加わって**出現した意識障害であるため、**早期対応が必要**です。また、せん妄は多臓器不全の一種であり、呼吸・循環・代謝・感染など全身状態の変化の予兆としても現れます。

### 「せん妄」は見落とされる!

せん妄は、**30~60%が見過ごされたり**、不適切な治療を受けています。急な発症であり、1日の中で長く患者のそばにいる看護師の「**観察**」が大事になりますが、看護師の経験に基づいた評価では、**せん妄の70~80%を見落としている**という結果があります。



#### ◎ポイント!

#### ★患者さんが記載する検温表をみる★

記載されなくなったり、ミミズの違ったような文字になっている⇒**せん妄の始まりが分かる!**

### せん妄を見落とすと・・・

全身状態の重篤化、予後の悪化につながり、**退院後2年以内の死亡率が2倍に上昇**します。また、再入院の確率の上昇や認知症への移行などに影響するため、**予防・早期治療が重要**です。そのため、**疼痛や呼吸困難、感染など調整可能な因子を可能な限り除去することが重要**です。



#### ◎ポイント!

入院前の患者の状態を理解している**家族**を観察者として巻き込む⇒**8割が早期にせん妄を発見でき重症化を防ぐことができる!**

### 内服している薬剤に注意!

#### 【ベンゾジアゼピン系の薬剤】

**トリアソラム (ソラナックス®)** は、ハイリスク患者の、せん妄出現リスクが高くなる!

**エチソラム (デパス®)** は、発熱時や術後は特にせん妄のリスクが高くなる!

**プロチソラム (レンドルミン®)** は、せん妄を悪化させる!



#### 【その他のせん妄の原因薬剤】

**H2 ブロッカー (ガスター®、ファモチジン®)**

### せん妄の予防・重症化を防ぐには

医療者が**せん妄についての理解を深める**ことが第一です! 看護師個人個人が、「ぼーっとしている」「急な感情の変化」「つじつまが合わない」などの意識障害を見つけられる「**観察力**」が重要!!

スクリーニングや予防をしながら、継続的にアセスメントを行きましょう!

#### ハイリスク患者・家族に対して

せん妄について事前に説明を行い、不安の軽減を図ります。



### ★お知らせ★

せん妄タスクフォースで作成されました

せん妄リスク評価シートができました!

ナビゲーションマップ ⇒ 看護 ⇒ 病棟業務 ⇒ 書式記載ツール ⇒ **せん妄・認知症⇒せん妄リスク評価シート**  
ご活用ください!!

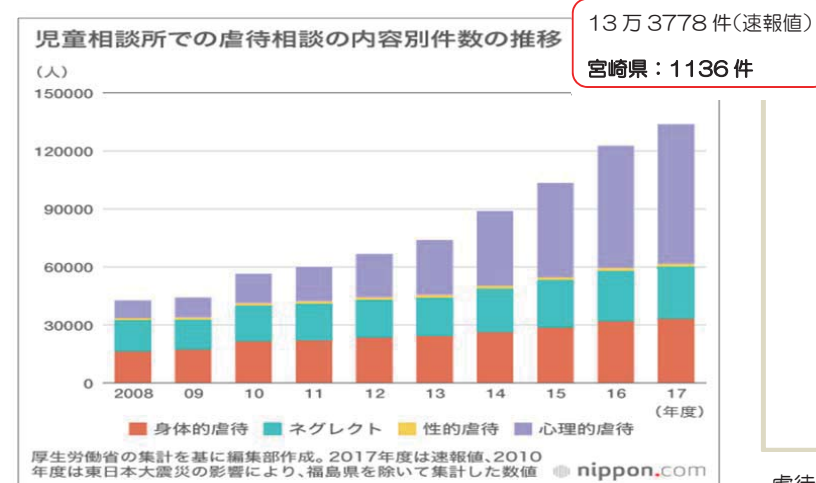
## 子ども虐待は「子ども」と「母親」のSOSです! 小児救急看護認定看護師：野崎 久美

「虐待」と聞いて思い出されるのが、東京都目黒区で今年3月に亡くなったAちゃん(当時5歳)です。食事も与えられず義父から暴行を受け、「もうおねがいゆるして」とノートに記していた言葉は日本全体が悲しみと怒りに包まれました。虐待は、**見逃しが予後に直結する、鑑別すべき重要な小児期の疾患**です。

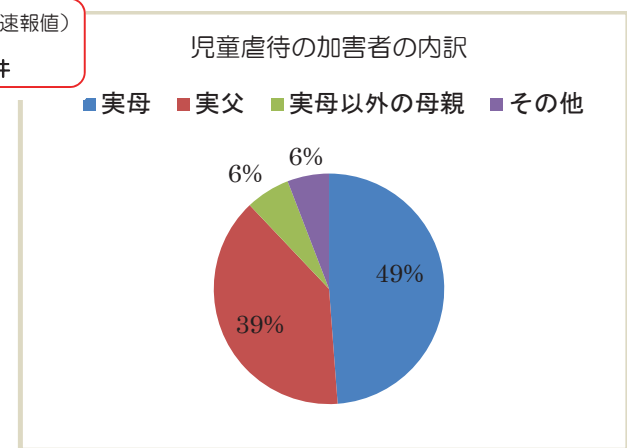
この疾患は、極めて再発率が高く、見逃したり適切な対応をしなければ、虐待は重症化し、子どもの命を奪う事態になりかねません。(被虐待児を何の対策を打たずに再び家庭に戻してしまっただけの場合、5%は死亡、25%は再受傷し重症となると言われている)



### ◆児童虐待の相談件数は27年連続で増加しています



### ◆おもな虐待者は約5割が実母です



※増え続けている背景には子ども虐待に対する意識が高くなったことも反映されています。

虐待の根底には「育児不安」や「ストレス」があります。母親が心身ともに良好な状態で育児に臨めない現状があり、子どもを虐待する**母親も被害者**といえます。

### ◆子ども虐待対応のポイント

#### 1. 子ども虐待を認識する(気づくこと)

家庭内でのケガ、原因不明のケガや消耗状態、「何か気になる子ども」は子ども虐待の可能性を疑う。「身体症状」「周囲状況」から情報収集、判断する  
 <注意点>子ども：その場で根掘り葉掘り聞かない。答えを誘導しない  
 \*子どもはどんな質問に対しても「うん」と答える傾向にある  
 保護者：子どもが話した内容を明かさない。「虐待をしなかったか？」など直接的な質問はしない。  
 \*子どもをさらに危険にさらす可能性がある

#### 2. 一人だけの対応で終結させない。

疑問を持った時点でスタッフに話し、複数で考える。疑わしい場合、院内時は子ども事故対応委員会(ポケット版医療安全管理マニュアルP131参照)、院外は児童相談所に通告 \*詳細は日本子ども虐待医学会医療機関向け虐待対応啓発プログラム「BEAMS」HPを参照

#### 子ども虐待を疑う場面

- ・体に不自然な傷が多い
- ・活気のない子ども・汚臭・身体の汚れ
- ・繰り返す損傷・成長・発達の遅延
- ・治療していない齲歯が多い
- ・親と不自然に見える距離感、もしくは親以外の大人への距離が近い など

### ◆子ども虐待を見逃さないために

子どもの虐待を早期発見するためには、「気づくこと」がその第一歩となります。被虐待児の特徴および虐待者の特徴を理解し、虐待かもしれないという意識をもって子どもを見るのが大切になります。早期発見が「**子どもの最善の利益を守る**」ために重要であり、「**子どもと家族への援助**」へのきっかけになります。